



鉄鋼業の未来と求められる人物像 ようこそ世界一の業界へ！ 3つのNo.1

日時：5月21日（水）13時00分～14時30分

場所：九州大学

講師：小澤 純夫（一般社団法人日本鉄鋼協会 専務理事）

工学とは「数学や自然科学の知識を応用して、自然界に存在する材料とエネルギーを、人類の利益のために利用する方法を開発する専門分野である」と定義できるでしょう。人類の発展は、材料の発見と改良が担ってきました。故に道具・武器として利用される材料が時代の名称となっています：石器時代→青銅器時代→鉄器時代。

日本は、バブル崩壊、リーマンショック、自然災害など多くの困難に直面してきましたが、品質力・技術力を活かせる部素材を強みとして、我が国経済を支えてきました。材料イノベーションは数年単位の時間が必要で、粘り強さを信条とする日本と相性が良いと言えるでしょう。

この講義では、鉄鋼協会育成委員会で作成した動画（材料・金属・鉄の科学的知的好奇心を刺激することを目指し作成）を紹介しつつ、行政的視点及び社会科学的視点から見た材料・金属・鉄鋼及び素材産業・鉄鋼業の魅力、最新の材料・鉄鋼技術をとりまく状況、課題と展望等を含む以下の項目をお話します。

- ・ 製造業－素材産業のすすめ
- ・ ようこそ世界一の業界へ 3つのNo.1
- ・ 鉄鋼業界の課題と展望
- ・ 製造業・材料産業・鉄鋼業界における仕事の内容と職種（求められる人物像）